

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

1 当該学年・学期等における探究課題 《町の特色を活かした、地域活性化のための取組（町づくり）》

2 単元名 『わくわく井原町商店街もりあげ隊』（全55時間=実施時期：6月～2月）

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

井原町の「もの」「ひと」「こと」について調べ、関わることを通して、自分たちができる地域活性化の取組があることを理解し、何ができるかを考えると共に、地域を愛する心を育てることができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		社会科「町探検」を通して、井原町商店街の様子について話し合う。	新町マルシェに参加したり、商店街の方々にインタビューする。	集めた情報を基に、井原町商店街活性化のためにどのようなことができるかを考え、計画を立てる。	新町マルシェを彩るガーランド、井原町を盛り上げるボードを制作し、マルシェに参加する。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	井原町商店街をもっと盛り上げて、井原町を元気にしたいという想いを持つことができる。	商店街の方々の話を聞き、課題設定でもった井原愛をさらに高めていくことができる。	自分たちにどんなことができるか、集めた情報から考えることができる。集めた資料を基に友達と意見を交流することで、クラス全体で取り組む内容を決定することができる。	新町マルシェに出店することで、今後も継続して自分たちにできることはあるか、考えることができる。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>				
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>				
仕掛け・工夫	もの	社会科の町探検を行う際に、井原町商店街の様子に注目できるよう、コースや視点を絞っておく。	商店街のことについて調べることで、「新町マルシェ」について知り、普段から参加できるようにする。		
	ひと		インタビューする店や施設を実際に訪れ、体験したり話を聞いたりすることで、自分たちにできることをイメージできるようにする。		「おのはなご商店」小野華子さんに、ガーランド制作について教えていただく。
	しごと（こと）		インタビューを通して、商店街の方々の思いや大変さを知る。		
アウトプットの工夫		新町マルシェに、今回の取組に対するアンケート箱を設置した。お客さんからフィードバックをいただくことで、児童のモチベーションもあがり、次の活動への意欲も高めることができた。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「町探検」
国語科「わたしたちの学校じまん」

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

デニムホテル舞鶴楼 おのはなご商店 久津間製菓
新町マルシェ（いばらMACHIフェス）

◆単元のねらい「井原町の「もの」「ひと」「こと」について調べ、関わることを通して、自分たちができる地域活性化の取組があることを理解し、何ができるかを考えると共に、地域を愛する心を育てることができるようにする。



課題設定

社会科「町探検」で井原町商店街を歩く。
○人通りや、商店街の様子について話し合いを行う。
○井原町商店街をもっと盛り上げよう！という課題を設定する。



整理・分析

商店街を盛り上げるためには、誰に話を聞けばよいかについて考える。
○商店街の人にインタビューすることで、商店街の人の思いを知ることができると気付く。
○「新町マルシェ」の開催に注目し、自分たちにもできる取組について考える。



情報収集

インタビューを行う。
○インタビューの仕方を学習する。：国語
○インタビュー対象者を決め、連絡をとる。
○実際の店舗でインタビューを行う。
○商店街の方の思いを知る。



整理・分析

インタビュー内容をまとめる。
○商店街の方の思いをまとめ、発信の仕方について考える。
○「新町マルシェ」で自分たちができる取組について、具体的に考える。



整理・分析

「新町マルシェ」に参加するための準備を行う。
○各テントを彩るガーランドを作成。→小野さんに作り方を教わる。
○井原町を紹介するボードに、どの情報を載せるのか、検討する。



まとめ・表現

情報収集

「新町マルシェ」に参加・出店する。
○思いを込めたボードの横に、来場者アンケートを置いておく。
○家族や友だちを誘って自主的に参加する。

整理・分析

今年度の自分たちの取組を振り返ることで、今後自分たちができること、してみたいことについて、アイデアを出し合う。

まとめ・表現

商店街の方に、アイデアを提出する。
○今年度、商店街の方と関わったの感想や、今後取り組んでみたいことについて、手紙を書く。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○自分たちが住んでいる町に、より親しみと愛着をもつことができた。また、どうすれば商店街のよさを伝えられるかについて、地元で働く方々の話を取り入れながら、自分たちで考え、表現することができていた。また、お客さんからフィードバックをいただくことで、自分たちがしてきたことの意義も感じるようになっていた。
△☆活動自体は、児童主体で動くことができていたが、教師が話し合いの柱を提案することも多かった。課題に向かって、より自由で豊かな学びができるように、場づくりの工夫や、話し合い活動の充実、地域との交流にも力を入れていきたい。